



Skills Management Association

イノベーション創出のための 人材育成・活用の環境研究会活動報告

一般社団法人 スキルマネジメント協会 理事長
(株)オプテック 代表取締役会長
大原茂之

1. 研究会について
2. 活動概要について
3. ETSSの概要
4. 試験でスキルを測定する簡易版のシステムの説明
5. 企業環境のアンケート調査
6. おわりに

本研究会の活動目的は、下記①、②の研究開発を通して、
会員企業の人材育成に資することにある。

- ①組込みスキル標準(ETSS)のスキル評価を客観化する手法の開発
- ②スキル育成と活用を効果的にする企業環境の特性抽出

1) 部会構成

主査	株式会社オプテック
副主査	株式会社ベリサーブ
メンバ	株式会社豊田自動織機
メンバ	イーソルトリニティ株式会社
メンバ	アドソル日進株式会社
メンバ	株式会社ソニックライン
メンバ	株式会社OTSL
メンバ	一般社団法人 組込みシステム技術協会
メンバ	独立行政法人 情報処理推進機構 人材育成本部

2) 活動

2016年度は10回の研究会を開催

1) 目標1

試験でスキルを測定するシステムのたたき台

2) 結果

- エクセル上で簡易的なシステムを作成

ただし、エクセルシートに対する操作の禁止を前提

- スキルを統計的に見積もり可能であることが分かってきた

3) 今後

回答時間管理を可能にすることを検討

1) 目標2

イノベーションを目指すスキル育成と活用に関する企業環境のアンケート調査

2) 調査方法と結果

- Googleフォームを用いて34問のアンケート調査を実施

- 調査対象は個人で、有効回答者数は121人

- 調査結果から見えることの一例

 - ⇒ イノベーションのための研修だけでは成功しない。

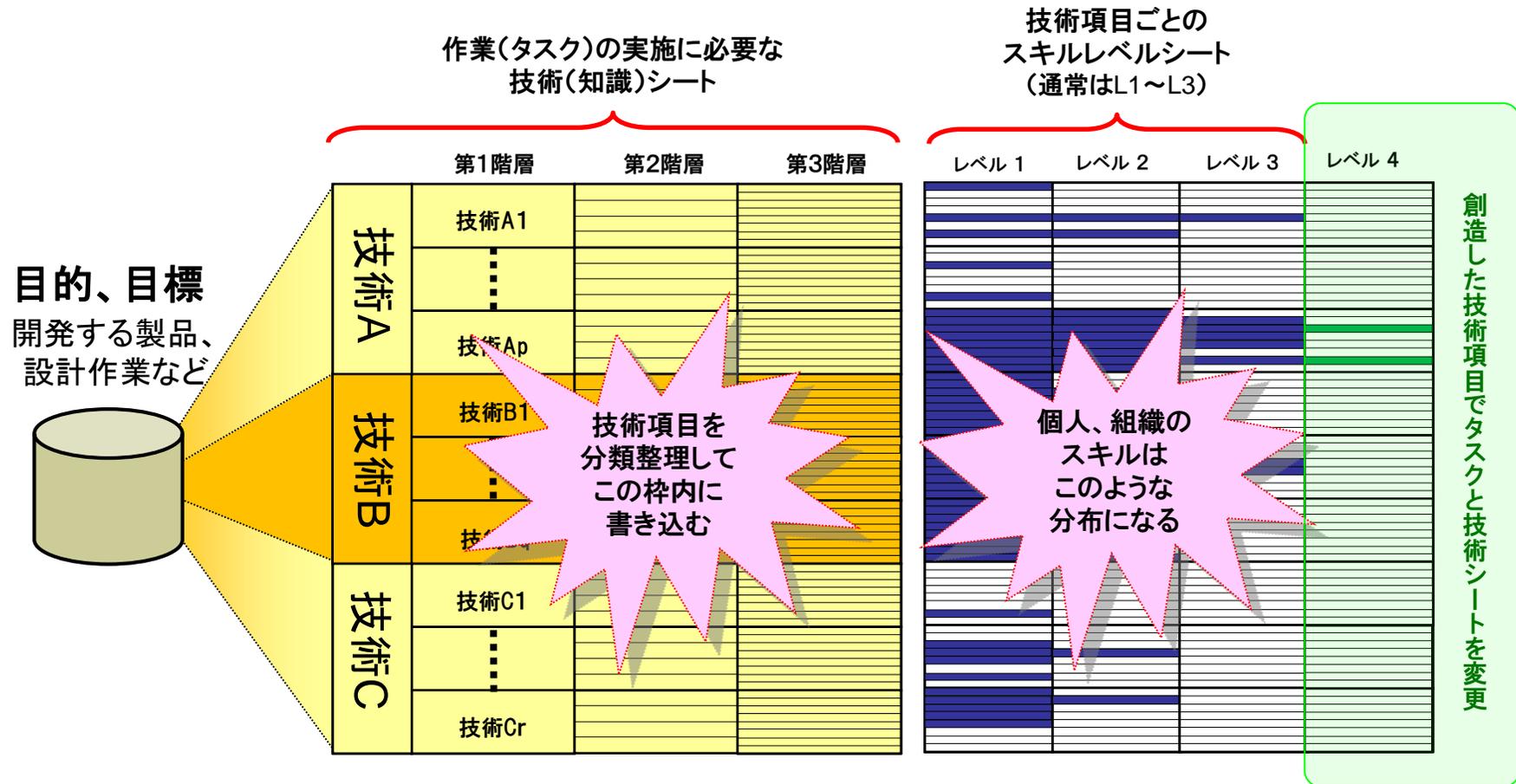
 - ⇒ 日常的にイノベーションへのモチベーションを持続させる企業風土といった環境が必要

3) 今後

- モチベーションをもたせる工夫や研修のあり方などを調査

- 人材育成と活用の企業環境をモデル化

- ETSSではフレームワークが標準！ 企業内で個々の技術項目を策定
- 人材のスキレベルは、作業に求められる技術(=知識)ごとに計測
 - 計測した結果はスキルの分布
 - 似た例:健康診断における血圧、体重、身長などの測定結果の一覧表
- 部門や企業の組織単位のスキル:個人のスキル分布を集めることで可視化可能



当研究会では
この環境を
研究

スキルを育成・活用する環境

スキルの
期待値

離

レベル4: 新たな技術(知識)を開発できる(創造者)
(これまでの知識を超えた新しい知識を創造できる)



異なる次元へ

破

レベル3: 作業を分析し改善・改良できる(1.5人前以上)
(後進を指導でき、既定の工程での想定外の事象に対応できる)



試験で
測定する
レベル

レベル2: 自律的に作業を遂行できる(1人前)
(既定の工程に沿った行動ができる)



守

レベル1: 支援のもとに作業を遂行できる(半人前)
(一人では既定の工程に沿った行動ができない)



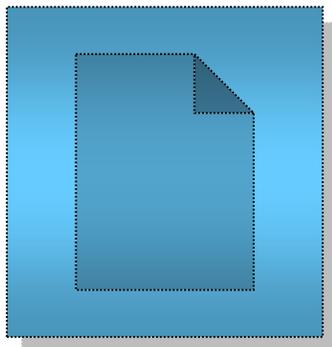
1) 評価対象

L1 と L2 を対象

2) 試験方法

- 問題数 80問程度が目安(設定可能)
- 試験時間 1問あたり20秒を目安(設定可能)
- 試験問題 各社で作成
- 提供方法等は今後の課題

試験方法の簡易版のデモ



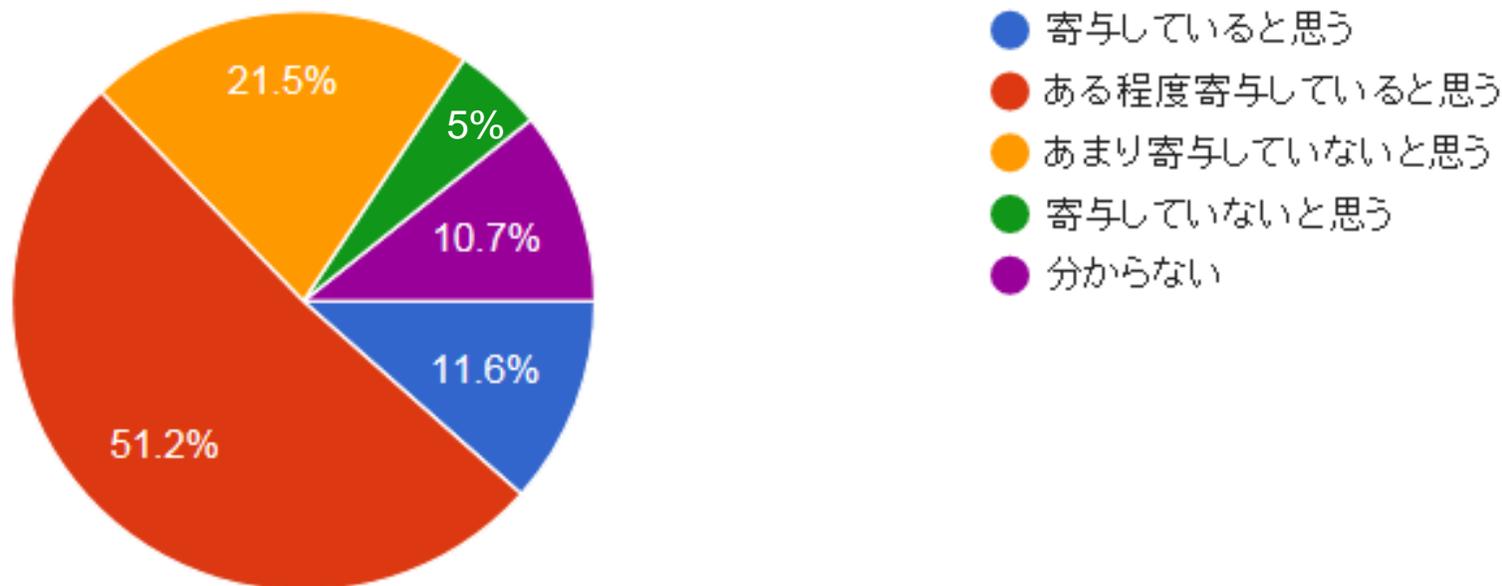
1) アンケート調査対象者など

- アンケート対象: 個人
- アンケート設問数: 34
- 質問形式: 1つ選択のタイプ、複数選択のタイプ

2) 調査結果の公開

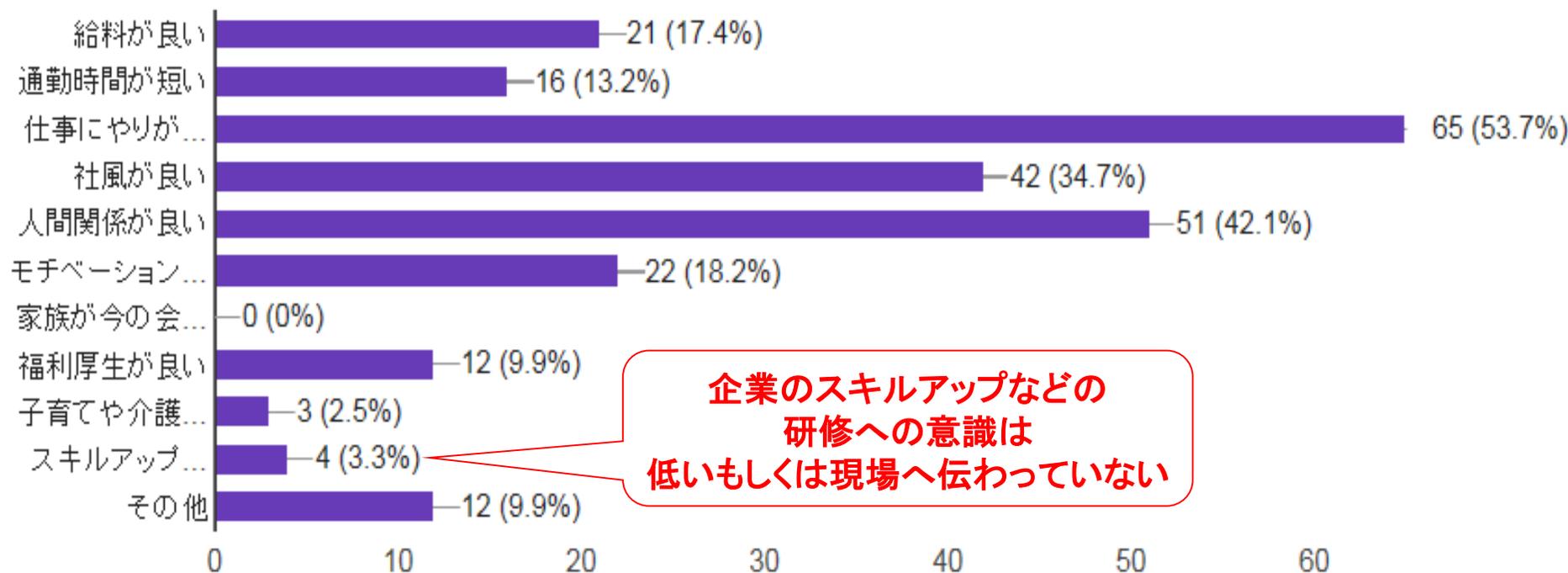
- 回答者数: 121人
- 結果の公開: 2017年5月23日(火)からSMAのホームページ上
Googleフォームによる集計結果

質問14 あなたの会社の人材育成は仕事の成果向上に寄与していますか
(1つ選択)



質問32 あなたにとって今の会社で働くモチベーションとなっているものは何ですか
(複数選択)

給料が良い 通勤時間が短い 仕事にやりがいがある
社風が良い 人間関係が良い モチベーションはない
家族が今の会社で働くことを望んでいる 福利厚生が良い
子育てや介護ができる支援制度がある
スキルアップなどの研修制度がある その他



企業のスキルアップなどの
研修への意識は
低いもしくは現場へ伝わっていない

調査結果の分析については、会員企業へ展開するべく研究会で作業中であるが、ここではその一部をご紹介します。

【 相関係数 0.744 】

質問3 あなたの会社は人材育成に積極的ですか(1つ選択)

- 1)積極的だと思う 2)ある程度積極的だと思う 3)あまり積極的でないと思う
- 4)積極的でないと思う 5)その他

質問4 あなたの会社では、現場の業務内容やニーズを人材育成に反映していますか(1つ選択)

- 1)反映していると思う 2)ある程度反映していると思う 3)分からない
- 4)あまり反映していないと思う 5)反映していないと思う

コメント:

- アンケートへの参加者からみると、人材育成に積極的である企業は現場のニーズや業務内容を反映した人材育成に取り組んでいる状況が浮き彫りとなった。
- こうした育成は、現時点での業務効率向上には良いであろうが、中長期的あるいはイノベーションに向けての人材育成の観点からは疑問が残る結果である。

今年度の研究会活動

- 1) 2017年度のアンケート調査に向けて、調査項目を設計
- 2) スキル評価用の基本的な試験項目の策定
- 3) 企業を活性化させる要因の策定と企業環境のあり方
- 4) 企業活性化に向けた日本型イノベーションとは
- 5) スキル測定用の試験システムの検討

研究会活動へのお誘い

- 人材育成・活用とその環境などにご興味のある企業様は、是非ご参加下さい。
- 研究会は1回／月の割合で開催しています。
- お申し込みはホームページから事務局へお願いします。
- 初年度は入会金10万円のみ(次年度から年会費10万円)です。

ご清聴ありがとうございました